

出題分析			
試験時間 100 分	配点	数学科 200 点 物理学科 100 点 その他 150 点	大問数 4 題
分量（昨年比較） 減少 同程度 増加		難易度変化（昨年比較） 易化 同程度 難化	
【概評】 今年も例年通り，記述形式の問題が4題出題された。 昨年は一昨年より難しかったが，今年は昨年より易しくなった。			

設問別講評			
問題	出題分野・テーマ	設問内容・解答のポイント	難易度
1	積分 ・絶対値	(1)は，確保すべき。 (2)は，(1)の結果を利用して，積分区間を分割して計算するのが基本。教科書レベルの問題なので，ミスせず解答したい。	易
2	指数・対数 ・不等式の証明	(1)(2)は，計算ミスをせず進められるかがポイント。 (3)は，(2)と $2^{10} < 1100$ を利用すると示せるが，気づかずうまく示せなかった者もいるだろう。	標準
3	図形と方程式 ・必ず通る点 ・通過領域	(1)は， a の恒等式に持ち込むのが定石。 (2)は，(1)の点 A を通る直線 l がどのような傾きをとるかを考えて作図してもよいし， a が存在する条件を考えてもよいだろう。	標準
4	図形と方程式，微分 ・点と直線の距離 ・接線の本数	(1)は，落とせない。 (2)は，(1)で求めた距離を利用して考えられる。 なお，図を描いても細かいところが分からないだろうから，数式で言い換える力が試される。	標準

合格のための学習法
<p>例年はⅢ分野を中心に，標準よりやや難しい問題が多く出題される。また，図形，関数，論証など広範囲の内容を含むのでバランスよくやや難しい問題まで演習することが大切である。なお，解答用紙とは別に4枚の白紙（B4サイズ）が与えられるので，十分に計算用紙を使い，答案を簡潔にまとめる訓練も大切である。</p> <p>今年は，1，2(1)(2)，3(1)，4(1)をミスなく確保したい。その上で，残りの問題に取り組んで8割程度獲得すると合格圏に入るだろう。</p>